

BLCJ(部会2)の2022年度活動方針(案)

2022.5.16

BLCJ

2022年度のBLCJ活動方針(案)

- 技術研究組合設立申請時目標(その後の修正を考慮)と2021年度末の成果を比較し、未達成の内容について促進を図る。
- 特に(試験)ライブラリの検討・整備については未達成であり、重点化するとともに、BIMベンダー、メーカー、BIMサイトへの標準ver 2.0 普及も重点化を図る
- 標準ver2.0の整理・確立は2022年度上半期とし、その後利用マニュアル作成、国交省の試行事案への対応を円滑にする。
- 共通ID、仕様書IDの活用等による業務構想の具体化に向けた検討促進
- 当初の目標にない新規のソフトウェア開発は2022年度はおこなわない。
- BLCJ成果の公開、監修表示、BLCJ準拠表示は、今後のビジネスモデルと技術開発の柔軟性を考慮し、幅広く枠組みを検討する。
- 新組織の検討は設立の経緯を踏まえ、関係者の必要な了解を得るとともに、検討は事務局主体で実施し、主要な時点で部会長等に説明を行う。
- 4,5月に各部会の2021年度成果を全員に報告し、BLCJ内で調整すべき項目を洗い出し部会長会、技術運営委員会で調整する。
- 他の部会と調整を図る必要がある項目に関しても早めに洗い出して協議開始。

- BLCJのBIMライブラリのデモサイトビデオ等を作成し、関係者へ見てもらい、意見を聞き、改良をしていく。
- BIMベンダー、メーカー、BIMサイトへ標準ver 2.0について意見を聞き、普及の推進を行う。
- BLCJのBIMライブラリサイトと民間BIMライブラリサイト、BIMソフトウェアベンダーサイト、メーカーBIMライブラリサイトとの連携について調査と調整を行う。